

# 一か月たった一年生

入学当初の四月は、元氣よく学校へ行っていたのに、五月にはいると、なにか気むずかしくなったり、家を出しづつたり、あるいは、休みたがつたりするお子さんはいませなか。

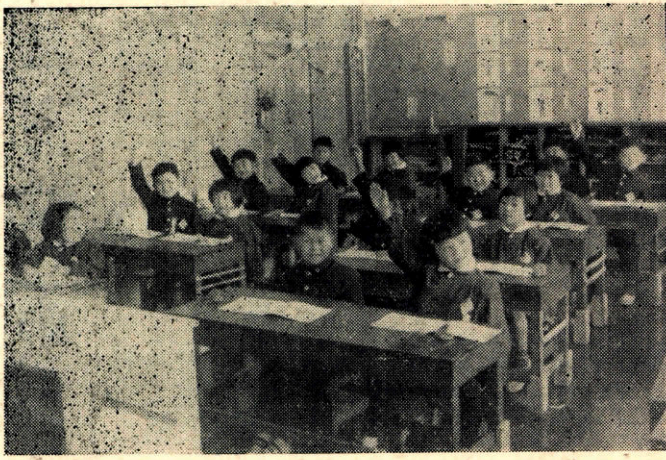
とくに、過保護のお子さん……ひとり子とか年寄りにあまく育てられたお子さん、あるいは、家の中ばかりにいてほかの友だちと自由に遊んだことのない子どもにも、そんな傾向がみられがちのようです。

そこで、

大体次の三つの点をよく考えてみましょう。

①登校をしぶる……

そんなお子さんを頭ごなしにしからないうでください。



まずなにか原因がよくたしかめることです。時によると病気の初期のこともありますし、案外近視だつたり耳が遠いというようなことを発見したりします。

②学校を休みたがる……これには、案外一学校にいくといじめられるからいやだ」という単純なケースが多いものです。おしつこをもら

してしまつて、みんなからからかわれたとか、みんなとちがつた服装をしていておかしいといわれたというような、たわいないことが理由になることもあります。また神経質なお子さんもこうした学校がいらが見られることもあるようです。

どんな場合でも学校の先生とよく相談して早く通常の学校生活ができるよう、家族全部で、おおらかにこのだじな時期を過ごさせてあげたいものです。

③おとなたちへ……登校をしぶる……学校を休みたがる……いわゆる学校がいらになる大半の原因は、子どもよりむしろおとなたちに責任があるということも十分反省すべきでしょうね。

こどもは、就学年齢になれば、十分学校にたえうるものです。おとなは自ら反省するとともに、時には、きつぱりした態度で、こどものわがままを押し返すことですね。

親自身のつごう……旅行するとか買物に出るとか芝居に行くから……でこどもを早退させたり休ませたりするのは、もつてのほかと心得てください。

## ゴールデンウィークの交通事故防止

五月のゴールデンウィークは、交通量がふえるのと気分的なゆるみとが重なつて、毎年交通事故の多い時期にあつています。

とくに、行楽地へドライブするよ

楽シーズの交通事故を防ぐ心得として、次の点に心がけてください。

1 出発前には、車体の点検を必ず行なうこと、とくに選出をする場合は、ハンドル、ブレーキ、タイヤの空

- 2、車を運転するときは、心身ともに異常のないことがたいせつです。疲労や寝不足が残つていような場合には、途中で居眠りが出るなど、人身事故が起こる危険が強いのです。こうしたときの運転は絶対にしないでください。
- 3、遠出をする場合は、余裕のある計画を立てること、目的地への所要時間と途中の休憩時間などをじゅうぶん計算に入れ、無理のない計画にしましょう。
- 4、他人の迷惑を考えない運転は、交通を混乱させるだけでなく、危険を増大させます。スピード違反、無理な追越し、割り込みなどは絶対にやめましょう。
- 5、踏切りでは必ず一時停止して安全を確認すること。
- 6、行楽期には、とかく酒がつきものです。酒酔い運転は、死亡事故の原因では第一位です。決して酒を飲まないことはもちろん周囲の者も絶対にすすめないでください。また、行楽地からの帰路などにみられる無免許運転なども、とり返しの

気圧などについてはふだんより入念な点検整備が必要

つかない結果をまねきますから、絶対にしないようにしてください。

7、二輪車による遠出は、できるだけひかえましょう。行楽地への道路はかなり混雑しますが、車の間をぬつて進む二輪車は、不安定かつ無防備だけにきわめて危険です。やむを得ず二輪車を利用するときは、通行区分帯に従つてスピードを出しすぎないように心がけるとともに、ヘルメットで頭を保護しましょう。

8、行楽地の近くでは、歩行者も多く、こどもが思ひかけないところからとび出してくるおそれもあります。目的地へ近づいても決して油断せず、最後まで安全運転に心がけましょう。

~~~~~

**アツ危い**

そのスピードが

死を招く

~~~~~

**一秒待つ**

心のゆとりが

身を守る

許運転なども、とり返しの